（第3種郵便物認可） 奈良新聞 令和7年（2025年）9月12日 金曜日 第2社会 2

大和郡山で16日まで「らんまん展」

不要な布でアート作品

障害者施設の利用者が制作 個性豊かな50点

個性豊かな作品が並ぶ会場＝大和郡山市千日町のぎゃらりぃかふぇ　らんまん

障害者らによる端切れを使ったリサイクルアート作品展「らんまん展―端切れDeあーと展」が、大和郡山市千日町の「ぎゃらりぃかふぇ　らんまん」（みんなの広場らんまんに併設）で開かれている。同施設利用者約20人がこの1年間、県特産品の靴下の工場から出た不要な布切れを再利用して作った作品約50点を展示する。16日まで。

会場には色とりどりのうろこが目を引く「お魚図鑑」や、五重塔の反り返った屋根と相輪（そうりん）を帽子のようにかぶる、にこやかな柿を表した「法隆寺と柿」など、個性豊かな作品がそろう。手のひらサイズのぬいぐるみや座布団など、かわいい作品も並ぶ。

1週間かけて花札の背景に大阪・関西万博のマスコットキャラクター「ミャクミャク」をデザインした作品を制作した、同市城町の上市竜二さん（30）は「最初はこういう細かい作業が苦手と思っていたが、一つのことに集中してコツコツとやってみれば意外とできる」と話した。

同施設の須川弥由基代表理事（44）は「不要な物や切り捨てのない世の中をつくっていきたい。物には思いや意味があって命がある」と話した。

午前10時～午後3時開場。日曜定休。入場無料。問い合わせは同施設、電話0743（53）7822。

写真をもっと 奈良新聞デジタル

生駒で寄贈式、市民功労表彰式

「地域の発展へ尽力」

上武建設がベンチ寄贈

南都銀行（石田諭頭取）の「〈ナント〉SDGs私募債」を発行した上武建設（生駒市北大和、上武建一社長）は、生駒市上町の北コミュニティセンターISTAはばたきに、屋外用ベンチ8台を寄贈。同私募債は、同行と私募債発行企業が連携し、国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の活動を実践する取り組み。起債額の一部から企業が指定する地方公共団体や学校、病院などに役立つ物品を寄付するもので、今回の寄付額は創業者でグループ会長の上武勝宣氏個人の寄付も含む。

10日に同市東新町の生駒市役所で寄贈式と市民功労表彰式が行われ、石田頭取、堀部泰史南都銀行生駒支店長、上武建一社長、上武勝宣会長、同市の小紫雅史市長、原井葉子教育長らが出席した。

同市への目録の贈呈、南都銀行と上武建設への市民功労表彰感謝状の授与が行われると、石田頭取は「生涯学習施設へ貢献したいという上武建設様のご希望で寄贈に至った。持続可能な社会の実現にこれからも寄与していく」と話し、小紫市長は「これまでの数多くの寄付や寄贈に感謝。ベンチは市民の憩いや施設の催しなどに活用させていただく」と謝辞を述べた。

（左から）寄贈目録を持つ小紫市長と、感謝状を手にする石田頭取、上武建一社長、上武勝宣会長＝10日、生駒市東新町の生駒市役所

同社はこれまでも私募債を活用し、上武勝宣会長の母校である市立生駒北小中学校に大判プリンターや公園遊具、書架と書籍を寄贈している。2017年より寄贈し続けている書籍は1500冊に上り、同校の児童生徒から「上武文庫」として親しまれている。

表彰を受け上武勝宣会長は「未来を担う子どもたちの笑顔と成長につながる貢献をこれからも積極的に続けたい」、上武健一社長は「生駒市をはじめ、地域発展のためにさらに尽力していきたい」と話した。

奈良フィルハーモニー管弦楽団と混声合唱団 40&25周年記念の特別公演

粟辻聡さんの指揮、指導で練習する奈良フィルハーモニー混声合唱団員と公募の参加者＝8日、大和郡山市南郡山町の三の丸会館

創立40周年の奈良フィルハーモニー管弦楽団（大原末子団長）と同25周年を迎えた併設の奈良フィルハーモニー混声合唱団（同）が14日午後2時から、橿原市北八木町3丁目の県橿原文化会館で記念の特別公演「G・ベルディーレクイエム」を開催する。公募で集まった80人超の合唱愛好家らと総勢124人の大合唱団を編成し、ベルディ作曲の「レクイエム」を演奏する。演奏時間約90分の大曲で、指揮は同管弦楽団正指揮者兼同合唱団指揮者の粟辻聡さんが務める。

公募出演者と大合唱団編成

演奏時間90分「レクイエム」 大きな挑戦へ

14日に、県橿原文化会館で

「節目の年に大きな曲をしたい」と粟辻さんが同公演を企画した。同管弦楽団はプロ集団だが、同合唱団は愛好家の集まり。粟辻さんが計画を立て始めたのは、コロナ禍で思うように活動できなかった2020年。最初の4年間は準備期間と定めて活動し、1年前から同曲に取り組んだ。合唱団員の田中年秀さん（81）＝生駒市＝は「5年前から目標にしてきた大曲を公募の皆さんやオーケストラと演奏できることはうれしく楽しみ」と話す。

一方、公募による合唱出演者は5月から練習に加わった。親子3人で参加する平群町の自営業乾陽一さん（57）と妻あい子さん（58）、長女の会社員みどりさん（26）はベートーベンの「第九」の合唱経験者で、みどりさんが「ベルディのレクイエムを歌える貴重な機会」と両親を誘った。みなラテン語の歌詞が難しいといい、陽一さんは「周りに迷惑をかけないよう頑張りたい」。

粟辻さんと同管弦楽団にとっても同曲の指揮および演奏は初めてで、「みなにとって大きな挑戦」と粟辻さん。

特別公演は「県みんなでたのしむ大芸術祭」の実行委員会が共催。入場料は前売り2000円、当日2500円。問い合わせは奈良フィル事務局、電話0743（57）2235。

飛鳥・藤原の宮都

「世界遺産」へ協力を

近鉄大和八木駅など 利用者に呼びかけ

「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録を民間主体で盛り上げようと、7月に設立した「応援する会」（佐藤進会長＝橿原商工会議所会頭）は9日と11日の2日間にわたり、近鉄大和八木駅と橿原神宮前駅で啓発活動を行った。

駅の利用者に「飛鳥・藤原の宮都」の世界遺産登録への協力を呼びかける「応援する会」＝11日、近鉄橿原神宮前駅

6世紀末～8世紀初めの宮殿や寺院跡、陵墓で構成される「飛鳥・藤原の宮都」は今年1月、国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界文化遺産登録を目指し、国内推薦候補に正式決定された。

同会は橿原市、明日香村、桜井市の商工・観光団体などで構成。ポスターや看板などを製作してバスやタクシーなどで掲示するほか、ボランティアガイドによる講座の開催、商工会のホームページで飛鳥・藤原を紹介するなどの取り組みを進めている。

11日は橿原神宮前駅構内で啓発用ののぼりや横断幕を掲げ、「飛鳥・藤原の宮都の世界遺産登録の応援を」などと呼びかけながらポケットティッシュを配布した。

佐藤会長は「ポスターの掲示は地域の企業約650社に協力をいただいている。今後は世界遺産に向けてのセミナーなども実施し、さらなる機運醸成につなげていきたい」と話した。

写真をもっと 奈良新聞デジタル

議会

委員会付託18議案 可決、認定、同意

天川村会

天川村議会の9月定例会は11日再開し、1議員が一般質問。委員会付託の18議案と追加の農業委員任命案を可決、認定、同意するなどして閉会した。

24年度決算 9件を認定

下北山村会

下北山村議会の9月定例会は11日再開し、24年度決算9件を認定。村国保診療所外構工事請負契約（4917万円、北山工業）の締結を可決して閉会した。

王寺町起点に28日 鉄道ロゲイニング

申し込みは15日まで

王寺町を起点に、チームで近鉄沿線の指定された場所を制限時間内に巡るイベント「ゆるくまわろう★!! 鉄ロゲin王寺」（近畿日本鉄道主催）が28日、開催される。荒天中止。定員200人で、近鉄ホームページ（https://www.kintetsu.co.jp/zigyou/rogaining/index.html）から申し込む。15日締め切り。

1組2～5人。参加費は大人1000円（保険料含む）、小学生以下は無料。

当日は王寺町久度2丁目のりーべる王寺東館1階雪丸スクエア（屋外）で、午前9時30分より開会。ゲームは同10時スタート。ランニングやウォーキング、鉄道、バスを駆使して午後2時までに指定場所をできるだけ多く巡り、ポイントを集める。移動の運賃は自己負担。車やタクシー、自転車は使用できない。

上位成績者は同3時から、一般の部とファミリーの部（大人と小学生以下）でそれぞれ表彰される。

問い合わせは近鉄大阪ハイキング係、電話06（6775）3566。

往来

12日

■―県政―■

山下知事＝出張

■―市政―■

【奈良】仲川市長＝議会▽鈴木副市長＝議会▽真銅副市長＝議会【郡山】上田市長＝議会▽中尾副市長＝議会【生駒】小紫市長＝議会▽領家副市長＝議会【天理】並河市長＝議会▽藤田副市長＝議会【橿原】亀田市長＝議会▽吉田副市長＝議会【高田】堀内市長＝議会▽奥副市長＝議会【桜井】松井市長＝議会▽前野副市長＝議会【香芝】三橋市長＝午前出張、午後会議▽堀本副市長＝会議【葛城】阿古市長＝議会▽東副市長＝議会【御所】山田市長＝議会▽奥田副市長＝議会【五條】平岡市長＝議会▽福塚副市長＝議会【宇陀】金剛市長＝議会▽鴻池副市長＝議会

■―町政／村政―■

【山添】野村村長＝在庁【平群】西脇町長＝会議【三郷】木谷町長＝議会【斑鳩】中西町長＝出張【安堵】西本町長＝午前在庁、午後出張【川西】小沢町長＝議会【三宅】森田町長＝会議【田原本】高江町長＝出張【曽爾】芝田村長＝出張【御杖】伊藤村長＝午前議会、午後在庁【高取】中川町長＝議会【明日香】森川村長＝在庁【上牧】阪本町長＝議会【王寺】平井町長＝議会【広陵】吉村町長＝議会【河合】森川町長＝午前議会、午後会議【吉野】中井町長＝議会【大淀】辻本町長＝議会【下市】仲嶋町長＝議会【黒滝】植田村長＝議会【天川】車谷村長＝休暇【野迫川】吉井村長＝議会【十津川】玉置村長＝在庁【下北山】南村長＝在庁【上北山】山室村長＝議会【川上】泉谷村長＝議会【東吉野】水本村長＝議会

訂正

11日付2面、手作りコンニャク「吉野の琥珀」の記事と見出し、写真説明で、世界大会「第3位」とあるのは「準グランプリ」の間違いでした。おわびして訂正します。

デスク メモ

◇…県内でもクマの目撃情報が相次いでいます。7日夜には、奈良市鹿野園町で道路脇にクマのような動物がうずくまっているとの情報があったそうです＝10日付既報。同市職員の見回りではクマがいた痕跡は見つかっていないものの、現場は付近に住宅や学校などもあり注意が必要です。

同市のホームページによると、ほかにも隣の木津川市も含め多くの目撃情報が。他の動物との見間違いもあるとは思いますが、自然環境に変化が起こっているのかもしれません。（法）

第2033回ロト6抽せん結果（11日）

【本数字】 05 16 21 22 33 35 【ボーナス数字】 26

1等	申込数字が本数字6個とすべて一致	3口	85,086,700円
2等	申込数字が本数字5個と一致し、さらにボーナス数字1個と一致	7口	9,946,200円
3等	申込数字が本数字5個と一致	242口	310,700円
4等	申込数字が本数字4個と一致	10,699口	7,400円
5等	申込数字が本数字3個と一致	167,344口	1,000円
キャリーオーバー			0円

第6811回数字選択式全国自治宝くじナンバーズ抽せん結果（11日）

【ナンバーズ3】 827

▷ストレート 36,600円

▷ボックス 6,100円

▷セット ストレート 21,300円 ボックス 3,000円

▷ミニ下2ケタ 3,600円

【ナンバーズ4】 7961

▷ストレート 587,400円

▷ボックス 24,400円

▷セット ストレート 305,900円 ボックス 12,200円

注意 「当選番号を教える」との詐欺が多発しています。当選番号は掲載前日に公表済みです。

「大人の知識」が満載／これであなたも「飛鳥通」に

おとなのアスカ巡り

沢田 立夫 著

元高校教師の著者が、1995（平成7）年ごろに冊子に寄稿した飛鳥に関するエッセイ23話を集約。「いにしえのアスカ人が残してくれた数多くの遺物や遺跡、記録等々はなにを物語っているのか？」といった視点で、歴史、地理、考古、文化、民俗など、さまざまな事柄について軽妙に語ります。単なる観光案内のガイドブックではなく、飛鳥をより深く知るための「大人の知識」が満載。飛鳥への旅の前に、ぜひ読んでおきたい一冊です。

A5判 並製本、154頁 定価 1,320円（税込）
ISBN978-4-88856-153-2

よみがえる懐かしい風景／昭和の「古都」へ〝時間旅行〟

飛鳥・藤原 写真でつづる宮都の今昔

上田 安彦 写真・文

コマーシャル分野で活躍している著者が、1965（昭和40）年から現在まで、半世紀にわたって撮り続けた写真400点あまりを掲載。65年撮影の山田寺跡（桜井市）や、69年撮影の大和三山（橿原市）、72年発掘当時の高松塚古墳（明日香村）の姿など60～70年代の代表的な飛鳥の遺跡や町並み、万葉歌碑も収録。昔の姿を織り交ぜながら今の「飛鳥・藤原」を見る内容となっています。

A5判 カラー、並製本、137頁 定価 1,870円（税込）
ISBN978-4-88856-136-5

万葉故地・歌碑から寺社まで詳細なガイド

明日香の万葉を歩く ―万葉故地・歌碑と寺社・史跡めぐり― 〈上・下〉

二川 曉美 著

日本のふるさと・明日香の万葉故地・万葉歌碑、その周辺の寺社・古墳・史跡など10コース（上巻・下巻各5コース）に分け、さまざまな情報を取り上げて詳しく解説。コースごとに地図を付け、万葉歌、寺社、史跡の詳細な情報とともに、主要地点間の距離と所要時間、万葉歌碑の概要を紹介するなど、万葉愛好者のみならず、寺社や史跡めぐりが好きなハイカーにも大変重宝される内容です。著者は大阪府在住の工学博士、学士会・万葉学会会員。日本図書館協会選定図書。

●上巻＝四六判 並製本、398頁 定価 2,750円（税込）
ISBN978-4-88856-124-2

●下巻＝四六判 並製本、410頁 定価 2,750円（税込）
ISBN978-4-88856-125-9

奈良が舞台の諸伝承／第一人者が魅力語る

大和路 古事記を巡る

和田 萃 著

京都教育大学名誉教授の著者が「古事記編さん1300年」を記念し、2011年8月から12年11月まで奈良新聞に連載した記事に加筆。さらに古事記の編者として知られている太安万侶（おおのやすまろ）ゆかりの田原本町・多（おお）神社・多忠記宮司との対談などを加え、一冊にまとめました。和田氏は日本古代史の第一人者。『古事記』にみえる諸伝承のうち、奈良を舞台とした精彩に富む伝承を取り上げ、研究者の立場から考えるところを記し、その魅力に迫っています。写真は弊社の牡丹賢治（関西写真記者協会会員）が撮影しました。

A4判 並製本、54頁 定価 1,100円（税込）
ISBN978-4-88856-117-4

郷土の隠れた偉人4人に焦点／北欧在住の郷土史家による労作

奈良きたまち 異才たちの肖像

安達 正興 著

奈良市出身で、北欧ノルウェー在住の著者が、帰国のたびに資料を集めて書いたもので、奈良市の旧市街「奈良町」の北側「きたまち」に関係する、郷土の隠れた偉人たち4人に光を当てた労作です。命を賭けて平城宮跡の保存に尽力した「棚田嘉十郎」（溝辺文四郎）」▼茶の湯の祖で謎の多い「村田珠光」▼刀彫の名工・森川杜園からの後継指名を断った孤高の仏師「竹林高行」▼英語、エスペラントからマレー語まで精通し、戦前・戦中に三十余冊ものマレー語関係の辞書を著した語学の天才「宮武正道」―の生涯を追った読み物です。

四六判 上製本、447頁 定価 1,650円（税込）
ISBN978-4-88856-156-3

〒630-8686 奈良市法華寺町2番地4
お近くの書店でお買い求め、ご注文ください。

奈良新聞社の本 旅・観光・風景・人物

TEL 0742-32-2117（平日） FAX 0742-32-2773
URL https://www.nara-np.co.jp